



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社
 コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 毎原 吉紀
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 札
 TEL 03-6732-7355

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	22,776	3.5	339	19.9	354	22.8	229	24.1
2019年3月期第1四半期	21,999	3.3	423	46.6	459	52.3	302	56.9

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 152百万円 (51.6%) 2019年3月期第1四半期 314百万円 (22.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	43.34	
2019年3月期第1四半期	57.30	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	47,536	15,448	31.7
2019年3月期	52,566	15,589	28.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 15,061百万円 2019年3月期 15,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		55.00	55.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,000	0.8	950	1.4	950	3.9	600	7.6	113.43
通期	105,000	1.8	2,650	5.5	2,650	2.2	1,700	5.2	321.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	5,325,600 株	2019年3月期	5,325,600 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	25,099 株	2019年3月期	28,299 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	5,299,034 株	2019年3月期1Q	5,281,815 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2019年5月14日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や中国経済の成長鈍化等により世界経済の不確実性が高まるなど、先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、生産設備分野において半導体関連の設備投資の抑制が続いておりますが、首都圏の再開発案件など建設関連投資は順調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは持続的成長と企業価値向上の実現に向けて、中期経営計画の基本方針に基づきグループ総合力の発揮、財務体質の改善等に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は227億76百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は3億39百万円（前年同期比19.9%減）、経常利益は3億54百万円（前年同期比22.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億29百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連において半導体メーカーが設備投資を抑制している影響を受けましたが、建築設備関連が首都圏の設備需要を取り込むことにより、底堅く推移しました。

以上の結果、売上高は54億21百万円（前年同期比4.0%減）、セグメント利益は2億6百万円（前年同期比2.7%減）となりました。

(機械関連事業)

機械関連事業では、大型受注案件であるバイオマス熱電併給施設の受渡しなどにより大幅な増収となったものの、利益面は費用の増加により苦戦いたしました。

以上の結果、売上高は32億26百万円（前年同期比81.4%増）、セグメント損失10百万円（前年同期はセグメント利益30百万円）となりました。

(建材・燃料関連事業)

建材関連事業では、北海道新幹線関連工事等に伴う生コンの出荷や土木資材における橋梁・道路資材の受渡しが伸長したものの、建築資材は前期の大型杭工事の反動減から低調な推移となりました。燃料関連事業では、ガソリン等の販売が順調に推移しました。

以上の結果、売上高は90億45百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は15百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

(海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、天候不順等の影響により貨物の動きは減少したものの鋼材や石炭の取扱量が持ち直すなど、概ね順調に推移しました。

以上の結果、売上高は42億12百万円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益は1億18百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

(建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、首都圏再開発や東京五輪関連等の工事の進捗に伴いコンクリートポンプ車や切削機の引合い、販売が堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は8億70百万円（前年同期比1.5%増）、セグメント利益は20百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

なお、当社の連結業績は官公庁向け及び一般民需物件ともに第2四半期以降に売上が集中するため、四半期別の業績には季節的変動があり、第1四半期の利益は低水準になる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は475億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて50億30百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少44億12百万円、商品及び製品の減少5億57百万円、有形固定資産の増加10億89百万円であります。

負債は320億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて48億89百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少41億91百万円、未払法人税等の減少4億64百万円であります。

純資産は154億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億40百万円の減少となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.8ポイント増加し、31.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,446	9,053
受取手形及び売掛金	25,767	21,354
商品及び製品	1,277	719
原材料及び貯蔵品	30	40
その他	2,624	1,923
貸倒引当金	△18	△8
流動資産合計	39,127	33,083
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,359	5,337
その他(純額)	3,024	4,135
有形固定資産合計	8,383	9,472
無形固定資産		
	238	229
投資その他の資産		
その他	4,827	4,769
貸倒引当金	△10	△18
投資その他の資産合計	4,816	4,751
固定資産合計	13,438	14,453
資産合計	52,566	47,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,842	22,650
短期借入金	1,970	1,450
1年内返済予定の長期借入金	545	465
未払法人税等	515	51
賞与引当金	411	90
その他	2,792	2,168
流動負債合計	33,077	26,876
固定負債		
長期借入金	498	708
特別修繕引当金	62	69
退職給付に係る負債	1,261	1,251
その他	2,077	3,181
固定負債合計	3,899	5,211
負債合計	36,976	32,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,288	1,288
利益剰余金	11,004	10,942
自己株式	△36	△31
株主資本合計	14,611	14,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404	334
繰延ヘッジ損益	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	190	175
その他の包括利益累計額合計	594	507
非支配株主持分	384	387
純資産合計	15,589	15,448
負債純資産合計	52,566	47,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	21,999	22,776
売上原価	19,674	20,515
売上総利益	2,325	2,261
販売費及び一般管理費	1,902	1,922
営業利益	423	339
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	31	33
受取賃貸料	15	15
持分法による投資利益	6	—
その他	14	9
営業外収益合計	69	60
営業外費用		
支払利息	17	16
持分法による投資損失	—	5
固定資産賃貸費用	6	12
その他	9	10
営業外費用合計	33	44
経常利益	459	354
特別利益		
固定資産売却益	1	7
特別利益合計	1	7
税金等調整前四半期純利益	461	362
法人税、住民税及び事業税	29	22
法人税等調整額	118	99
法人税等合計	148	121
四半期純利益	312	240
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	302	229

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	312	240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△71
繰延ヘッジ損益	1	△1
退職給付に係る調整額	△4	△15
その他の包括利益合計	1	△88
四半期包括利益	314	152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304	142
非支配株主に係る四半期包括利益	9	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,647	1,778	9,256	4,459	858	21,999	—	21,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	—	127	3	—	144	△144	—
計	5,660	1,778	9,384	4,463	858	22,144	△144	21,999
セグメント利益	212	30	77	96	20	437	△14	423

(注)1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△15百万円、セグメント間取引消去額1百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,421	3,226	9,045	4,212	870	22,776	—	22,776
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	118	0	—	119	△119	—
計	5,421	3,226	9,163	4,213	870	22,896	△119	22,776
セグメント利益又は セグメント損失(△)	206	△10	15	118	20	350	△11	339

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△13百万円、セグメント間取引消去額2百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。